平成 27 年度
由仁町社会福祉協議会事業報告

やっぱり、
ずっと住みたいと思うまち、ゆに。

～共に支えあう安心・安全・福祉のまちづくり～

社会福祉法人由仁町社会福祉協議会

〒069-1203

由仁町東栄 87 番地の 1　由仁町文化交流館内

電話 0123-82-2167・0123-83-2340　ファクス 0123-82-2188

平成27年度由仁町社会福祉協議会事業報告

基本方針「共に支えあう安心・安全・福祉のまちづくり」に基づき、町民会員皆さんの参加協力をいただき、各種事業を推進しました。

事業推進の財源には、社会福祉協議会会員会費の協力をはじめ、由仁町からの補助金、委託金を受けたほか、町民の善意の共同募金活動助成金を受けて活動しました。

介護事業にあってはご利用いただいている会員皆様にご理解をいただき、心から感謝申し上げます。

活動の基盤となる財政状況は、介護報酬の大幅削減や利用者の制限など制度の改変により大きな影響を受けながらも、既存の在宅介護事業・指定管理事業の介護老人福祉施設ほほえみの家について既存財源で収支の安定化を図りました。

［法人運営活動］

各種法に基づき法人社協として会計・労務の基盤整備を進めてまいりました。

［地域の福祉活動］［ボランティア活動］

地域福祉活動は、社協が誕生した源であり社協の「原点」であることから、地域で何かとお世話をされる方、町内でボランティア活動に汗をながす方、町民皆さんの社会への参加は、社協活動のみならず由仁町の福祉力として、一層求められる社会のあり方です。高齢化の中では、福祉の制度サービスに加えてお互い様、“ご近助”など自らが支え、支えられる双方向の関係性を構築・活用する時代となっています。

地域の支え合い活動の推進や地域に暮らす皆さんが、仲間として支え合い、助け合っていくため、もっと安心した社会を創る“ふれあいいきいきサロン”など、その基盤づくりの推進を地域の福祉活動・ボランティア活動の皆さんと一緒に活動してきました。

［介護事業］［指定管理事業］

平成２７年度は、介護保険事業の大幅な介護報酬の削減や制度の見直しによる変革を迫られ、その経営安定には厳しい状況となっています。しかし、町内の多くの利用者様の介護サービスを継続提供するため、介護等人材の確保が急務として、昨年に引き続き、積極的に事業基金を活用して初任者研修を実施し、町民会員皆さんへの事業確保に努めました。

◎法人運営の強化

～法人組織・組織の基盤づくりを目指して～

・新社会福祉法人会計の適正管理と人員配置

・福祉だより等多彩な活動報告の発行

・地域福祉関係団体との連携

・福祉関係人材育成支援事業の検討

重点事項	目的・事業概要	具体的な事業報告
法人組織運営の推進 組織体制基盤の強化	・開かれた法人運営を基本に本会の円滑な運営のため計画の立案及び進捗の管理を。また、組織・事業・財務の評価により効果的、効率的な運営を行った。 ※役員改選に伴い選考会にて実施 ・人材の育成と組織力の向上を図る。	・定例理事会７回 ・評議員会３回・役員等選考会開催 ・理事協議会 ・監事会４回（3 か月毎実施） ・法人会員等拡大につとめ、会費等自主財源の確保した 一般会費　1,233 千円、2,055 件 特別会費　　212 千円、92 件 賛助会費　　580 千円、58 口 ・空知地区社協安心安全福祉のまちづくり推進会議を由仁町で開催（301 人参加）。
法人会計基準の推進	・社会福祉法人が統一された新会計基準に基づき、適正な執行を行った。	・会計事務所とのアドバイス契約による適正化を推進した。 ・労働法規に準拠した「就業規程」を全面改正した。
福祉だより等多彩な活動報告の発行	・社会福祉協議会事業の広報による社協活動の理解を図った。	・福祉だよりの発行３回 ・ホームページを開設し決算状況等を公表したほか、町回覧板・無線放送での活動の周知に努めた。 ・「ウォッチゆに社協」等のポスター展示について他町村活動を含め開催した。 ・自由通路展示ケースの活用。
関係団体との連携	・協力団体の理解と連携を推進	・民生委員協議会、老人クラブ連合会、身障福祉協会、自治区連合会などの参加で福祉のつどいを開催した。
福祉人材の育成支援	・福祉人材不足の解消を図る観点で「社協運営基金」を活用して町内会員に対し資格取得費の助成をした。	・町と共催で介護職員初任者研修を開催した。（13人資格取得） 10/24-12/13 の間（14 日）

◎地域福祉活動の推進
～住み慣れた地域でいつまでも暮らす環境づくりの推進～
・共同募金関係事業の推進(赤い羽根共同募金運動・歳末助け合い運動)
・いきいきサロンの充実(町委託事業)
・福祉のつどい＆ふれあい広場の開催
・無料法律相談・心配ごと相談の開催
・地域福祉活動の継続推進
・(指定管理事業)由仁町健康元気づくり館の運営

重点事項	目的・事業概要	具体的な事業報告
共同募金委員会への協力	・共同募金運動の普及と推進を図り自治区長で構成する共同募金委員会事業を社協役員、関係団体で支援した。	8 月街頭募金活動(由仁 8/2・三川 8/24) 共募ぬりえ展示会 10/1-10/15 10 月赤い羽根共同募金 11 月法人等募金 募金総額 1,390,780 円 12 月歳末たすけあい運動 募金総額 730,506 円 ・義援金の配分推進会議 12/21 ・見舞金交付式の開催 12/25
ふれあいいきいきサロンの充実(町委託事業)	・高齢社会の中で、外出機会の助長と地域内外での交流活動を通じて、孤独感の解消を図った。	・高齢者生きがい事業の実施。 （バス利用） 3 回、延 64 人 ・地域でのふれあい活動を推進する「サロン」で趣味の文化活動や食事会、茶話会、カラオケ会を開催した。 12 回、延 215 人
福祉のつどいの開催 (町委託事業)	・福祉活動の発展を願い、福祉功労者の表彰をはじめ、老人クラブ演芸発表の場として開催。	9 月 12 日(土) 表彰　団体 1 組、個人 1 人 老連 26 人（老人福祉功労） 305 人（参加人数）、芸能 14 組
ふれあい広場の開催	・ボランティア、文化サークルが一同に集い模擬店や福祉施設からの出店で開催。	9 月 12 日(土) 11:00 開会 14:00 お楽しみ抽選会 ゲスト　石川社中民謡元気組
無料法律相談の開催 心配ごと相談 (電話 83-2340)	・札幌弁護士会の協力のもと、南空知 4 町社協が協力して、毎週金曜日無料法律相談会を開催した。	毎月第 2 金曜日/由仁町げんき館で開催した。 毎回町無線で広報 利用者 33 人

重点事項	目的・事業概要	具体的な事業報告
地域福祉事業	・会費、寄付金をはじめ町委託金、共同募金、歳末たすけあい募金の助成を受けて、地域福祉活動を推進するとともに、事業の推進に当たって関係団体との連携強化。	・福祉杖への助成（1 本 200 円で提供）28 本 ・ボラ連等活動への支援 ・緊急情報キット「命のバトン」配布事業及び更新啓蒙した。 ・移動支援事業の受託 延 2,157 人（月水金曜日運行） 委託料 5,284 千円 ・車椅子貸出事業　延 21 件 ・行事テント貸出　17 件 ・各種レク機器貸出事業 12 件 ・後援等による協力 ・由仁町社会福祉金庫(貸付)を担当民生委員・関係機関と連携し貸付。 17件、822,370円貸付 ・環境美化推進事業（苗800本） 6/5由仁駅前・6/2三川駅構内・5/28川端駅前に植栽。 ・弔慰金（香典）交付 65件、325,000円
健康元気づくり館指定管理運営事業等	・指定管理事業によるげんき館の運営 町民会員皆さんの施設利用向上のための整備を行った。	(指定管理事業) ・施設向上備品整備 ２階創作作業室椅子 20 脚、集会室椅子 16 脚、会議テーブル 10 本、エアロビクスステップ５台、トイレ用ジェットタオルを１.２階トイレに４基設置した。 ・利用人数 健康センター延 27,084 人 元気づくりセンター延 11,300 人 （町委託事業） ・げんき塾の開催し介護予防事業を実施した。　延 1,893 人 毎週水曜日（げんき館）、金曜日（三川）各 48 回

◎ボランティアセンター事業の充実
～ずっと住みたいと思うまちづくりの活力育成を目指して～
・ボランティアセンター事業の充実
・ボラ連(由仁町ボランティア活動団体連絡会)活動への支援
・町ボランティアポイント事業(ボランティア感謝券)の発行充実
・ボランティア活動者育成支援事業

重点事項	目的・事業概要	具体的な事業報告
ボランティアセンター事業の充実	・センター機能を充実するため、福祉教育の推進をはじめ、育成支援活動や他団体との調整・交流を図り、協働・共助のまちづくりの推進を図ったる。	・ボランティア育成支援事業 ボランティアスクール 10/23（災害時の心得）、ジュニア福祉スクール 8/4 を開催した。 （災害時の心得） ・ボランティア活動団体便覧作成 ・南空知市町社協との防災協力 ・町防災訓練活動に福祉車両を貸出した。 ・ボランティア保険 282 件受付 ・ボランティアセンター登録状況 登録 18 団体、延人数 429 人 ・南空知市町社協との連携によるボランティアセンター災害支援マニュアルを作成した。 ・げんき館のボランティアセンター登録による町減免施策により、延 147 件、400,480 円のげんき館使用料支援を行った。
ボラ連(由仁町ボランティア活動団体連絡会)活動への支援及び活動者育成支援事業	・ボラ連活動の育成支援と活動推進を図った。	・活動助成金の交付 40 千円 ・交流事業協賛金 10 千円 ・加入団体育成支援 （再掲） ・活動団体げんき館使用料の減免による支援活動
ボランティア感謝券の発行(町委託事業)	・ボランティアセンター登録のボランティア活動をポイント算定し由仁町商工会商品券で発行した。	町の基本 50 ポイントに社協独自で 20％を上乗せし、商品券のための端数を切上げして配布した。16 団体、総額 261,000 円 年２回に分けて由仁町商工会商品券で配布

◎介護(予防)サービス事業の推進
～安心と安全・信頼の各介護事業所との有機的な連携推進～
・訪問介護事業/由仁町社協居宅サービスステーション
・通所介護事業/由仁町社協デイサービスセンター
・居宅介護支援事業/由仁町社協居宅介護支援事業所
・(指定管理事業)老人短期入所事業/介護老人福祉施設ほほえみの家
・(指定管理事業)地域密着型介護老人福祉施設/介護老人福祉施設ほほえみの家

重点事項	目的・事業概要	具体的な事業報告
訪問介護（ホームヘルプ）事業	・介護保険制度に基づく訪問介護(予防)事業を適正に実施し、社協らしい優しく丁寧な活動を推進した。	要介護者、延 3,302 人 予防（要支援）者、延 684 人 障がい　延 224 人、 生活支援 77 人 介護報酬額 10,218 千円 ・花のプレゼントを導入
通所介護（デイサービス）事業	・介護保険制度に基づく通所介護(予防)事業、適正に実施した。	要介護者、延 2,347 人 予防（要支援）者、延 945 人 介護報酬額 21,626 千円 ・試行介護予防ジョイサウンドによる体操の実施。 ・職員の介護予防インストラクター取得 ボランティア“まゆの会”の協力をいただいた。 （195 日、延 282 人）
居宅介護支援（ケアマネジメント）事業	・介護保険制度に基づく居宅介護支援事業を法令及び契約に基づき適正に実施した。	要介護者、延 413 人 介護報酬額 4,644 千円
(指定管理事業) 地域密着型介護老人福祉施設(老人短期入所事業)	・介護保険制度に基づき、介護老人福祉施設「ほほえみの家」を適正に運営した。 ・特養部 27 床 ・ショートステイ部 3 床	・特養部 27 床 延利用日数 9,357 人（日） ・ショートステイ部 3 床 延利用日数 786 人（日） 介護報酬 100,339 千円 ・ボランティア“ほっとレモン”の協力をいただいた。 （127 日、延 279 人）

◎受託及び補助事業について

（再掲）由仁町からの委託事業の受託

重点事項	目的・事業概要	具体的な事業報告
社協人件費の補助	・事務局員人件費の補助	・事務局員の人件費補助 新規に経理担当者を加え、事務局長ほか 3 人。 11,620 千円
福祉のつどいの開催 (町委託事業)	・福祉活動の発展を願い、福祉功労者の表彰をはじめ、老人クラブ演芸発表の場として開催。	9 月 12 日(土) 老人クラブ連合会、町関係事業団体等を同時開催した。 老人福祉功労者 長寿祝金等の贈呈式
ふれあいいきいきサロンの充実 （委託）	・高齢社会の中で、外出機会の助長と地域内外での交流活動を通じて、孤独感の解消を図った。	・高齢者生きがい事業の実施。（バス利用） ・地域でのふれあい活動を推進する「サロン」で趣味の文化活動や食事・茶話会、カラオケ会、大正琴教室を開催。 ・随時、回覧板等で周知
ボランティア感謝券の発行（委託）	・ボランティア活動をポイント算定して由仁町商工会商品券で発行した。	・午前、午後の活動を各 50 ポイントとして算定し、商品券で発行した。
訪問介護運営事業補助	・訪問介護事業確保による運営補助	・由仁町社協居宅サービスステーションの運営 ・入浴、排泄、食事等の介護、及び日常生活援助 ・障害福祉サービス事業 ・有償運送事業 補助金 3,132,500 円 委託金 173,250 円
移動支援事業（委託）	・人工透析患者移動の支援を行った。	・人工透析患者の病院送迎支援
げんき塾（委託）	・専門トレーナーによる介護予防健康教室を開催した。	・由仁水曜日、48 回開催 ・三川金曜日、48 回開催